

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 4月 1日

事業所名 音楽&リズム あなたが宝モノ貝塚王子教室



事業所による自己評価の令和5年度の結果を公表します。
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の資質向上に努めていきます。
これからも音楽&リズムあなたが宝モノ貝塚王子教室をどうぞよろしくお願いいたします。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	法令を遵守しています。お子様の成長やプログラムの変化に合わせて指導訓練室のスペースを変化させています。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	法令を遵守しています。また、法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等加配を1名以上配置し、より行き届いた対応をすることを心がけています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	80%	教室が3階でエレベーターがありません。そのため難しい点もありますが、1人で階段の上り下りが難しいご利用者様にはお手伝いをさせていただきます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	全スタッフ間で情報の共有、療育報告を行い改善に努めています。今年度は定期的にMTを開催できるようにします。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者様向け評価表の活用と共に、日々の連絡帳、LINE、聞き取り等を行い業務改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80%	20%	事業所向け並びに保護者様向け評価を実施し、結果による支援の質の評価及び改善の内容をHP、ブログ、SNS等で公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	コンサルティング会社と提携し、常に利用者様にとって何が最善の療育となるかを考え業務内容の評価と改善策の提案を受けています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	およそ一か月の座学と実地訓練を含めた初任者研修を行っています。また、その後も定期的に研修、模擬授業等を行い、資質向上に努めています。次年度はさらに専門家を招いての研修や、外部研修も充実させ、より質の高い療育を提供できるように努めます。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	6か月毎にモニタリング、アセスメントを行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	子どもの適応行動の状況を図るために、相談支援事業所とも連携し標準的なアセスメントツールを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	各教室長を中心にチームで活動の計画を立てスタッフで共有しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	月毎にテーマを決めプログラムを入れ替えています。障がい特性に合わせて随時プログラムの入れ替えも行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	平日の短時間での療育時には習慣化や日々の積み重ねが大切な内容を目指し、長期休暇の長時間療育が可能な時は時間をかけてじっくり取り組むことでできるようになることを目指し、それぞれに「できた」という自信と成功体験を積めるように支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	準備や片付けなどの生活訓練は個々の状況に合わせて個別に訓練をしています。また、音楽療育では子どもの状況に応じて小集団のクラス編成を行い社会性とコミュニケーション力を育めるように療育を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援開始前には職員間でできる限り打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担、注意や配慮が必要な点について確認しています。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	支援終了後は送迎等もあり全員集まったの振り返りは難しい状況です。かわりに、翌朝の朝礼時の振り返りや共有ノート、日報、チャットコミュニケーションを通じて、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有するよう工夫しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の支援に関して必ずお子様一人一人の個人日誌に記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的にモニタリングを行い、無理な目標や必要性が低くなった目標、あるいは達成した目標などを評価し、目標の再設定を行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインの総則の基本活動を複数、柔軟に組み合わせ合わせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	教室長または児童発達支援管理責任者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	保護者様を通じ行事予定表をコピーしていただくなど学校との情報共有を行い連携を取っています。送迎等の連絡調整も適切に行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	20%	医療的ケアが必要なお子様のご利用に備えて医療機関と連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	できる限り担当者会議を行い関係機関で連携をとれるようにしています。あゆみファイルなどの共有もお願いしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	20%	当事業所から直接障がい福祉事業所に通われるケースがありませんでしたが、できる限り担当者会議を行い就労支援事業所など各関係機関で連携をとれるようにしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関が企画・開催している研修に積極的に参加し、また訪問して連携をとっています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	40%	60%	事業所内での療育の質を高めることを重点的に取り組んできたため、なかなか交流ができておりませんが、今後、必要に応じて障がいのないお子様との交流の機会を作っていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	33%	67%	協議会等の会議やイベントに参加できる機会があれば、積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎の際や電話、連絡帳、メール、LINEなどで日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	相談のあった保護者には積極的に行っています。今年は外部講師を招いたオンラインセミナーを企画し保護者の方にご参加いただきご家庭での支援に役立ててもらっています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	療育説明会での支援内容のご説明と同時に、ご契約前には運営規定並びに利用者負担について丁寧に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	電話、連絡帳、メール、LINE等でいつでも相談できる環境を構築しており、日々の保護者様からの子育ての悩み等の相談に対応しています。今後、さらに保護者様が相談しやすい環境を作るため、定期的に面談を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%	昨年9月に新しく出来た教室で、今はまだ保護者様をお招きしてのイベント等は開催できておりませんが、次年度は療育参観等を企画し保護者同士の連携を支援して参ります。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情相談窓口を設けており、そのことは周知しております。相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月活動内容を載せた宝モノ通信を保護者様向けに発行しています。その他にLINE、HP、ブログ、Facebook等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者様に対して発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報は鍵付き書庫に保管しています。名前の載った資料の破棄はすべてシュレッダーで行っています。また職員に定期的に注意喚起しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	お子様には視覚情報を多用して意思疎通できるようにしています。保護者様との意思疎通ツールとしてLINEなどできるだけ視覚的に記憶・記録に残るツールの使用を心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	67%	開所して日が浅いためまだ取り組めていませんが、今後はコロナの状況も鑑みつつ来場型やオンラインでの講演会等を企画していく予定です。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。新型コロナ感染に伴い保護者にもご理解とご協力をいただきました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	地震・火災に備え毎月療育時間中に避難訓練を行いました。また職員によるシミュレーションも行っています。ガイドラインに沿って定期的実施して参ります。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	貝塚市が開催している虐待防止セミナー等に職員が参加し継続的に研修をしています。今後は参加した職員を通してスタッフにも内容が広く共有できるようにしていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	現状、そのようなお子様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載する仕組みを構築しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に食物アレルギーの有無を把握し、主治医の指示書がある場合はそれに基づいた対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努めています。